

Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency

CASBEE札幌



重点項目 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2

■使用評価ソフト: CASBEE札幌2014(ver.1.3)

1 建物概要		BEE	1.0	BEEランク	B ⁺
建物名称	札幌南三条西五丁目計画	総合評価 ★★★★★			
建物用途	飲食店・ホテル				
延床面積	7,174.48 m ²				

2 重点項目への取り組み		レーダーチャート
地球温暖化対策	最重点項目 省エネルギー	<p>省エネルギー性能 5.0 4.0 3.0 2.0 1.0 0.0</p> <p>雪処理</p> <p>省資源等への取組</p> <p>緑化への取組</p> <p>この建物は特に 省エネルギー性能 が優れています</p>
	省資源等	
	緑化	
	雪処理	

3. 設計上の配慮事項とCASBEEスコア					
A 省エネルギー				合計	22点 / 24点
Q1 温熱環境	スコア	2.0	LR1 建物外皮の熱負荷抑制	スコア	4.0
Q1 光・視環境	スコア	5.0	LR1 自然エネルギー利用	スコア	1.0
			LR1 設備システムの高効率化	スコア	8.0
			LR1 効率的運用	スコア	2.0
B 省資源等				合計	14点 / 23点
Q2 耐用性・信頼性	スコア	1.0	LR2 非再生性資源の使用量削減	スコア	5.0
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア	0.0	LR2 汚染物質含有材料の使用回避	スコア	1.0
			LR3 地球温暖化への配慮	スコア	5.0
			LR3 地域環境への配慮	スコア	2.0
C 緑化				合計	6点 / 16点
Q3 生物環境の保全と創出	スコア	1.0	LR3 地域環境への配慮	スコア	1.0
Q3 まちなみ・景観への配慮	スコア	4.0			
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア	0.0			
D 雪処理				合計	3点 / 3点
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア	1.0	LR3 地域環境への配慮	スコア	2.0

4 設計上の配慮事項		
A 省エネルギー		
・ 客室開口部にはペアガラスを採用し、外皮性能に配慮している		
B 省資源等	C 緑化	D 雪処理
・ 断熱材として用いる吹付けウレタン材について、ノンフロン品を用いている	・ 狭あいだで間口の狭い敷地条件のため、植栽の計画は無しとしている	・ 南面道路側は、一部をピロティ空間とし、メインエントランスのアプローチに対して降雪の影響を軽減できるよう配慮している。北側についても、アーケードとの隙間をふさぎ、雪・風にさらされにくいアプローチとした

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される